

緑を守ろう！ 無法な開発にNO!

500㎡未満ならどこに家を作ってもいい?

あかるい生田

住民の皆さんが緑を守れと議会に請願 まちづくり局長が「憤りを覚える」と異例の発言

小田急線「よみうりランド前駅」の北側、日本女子大学の正門の脇を入ると、奥深い緑地が広がっています。この一角で、巨木を倒して住宅建設が始まり、「こんな豊かな緑を壊すな」と住民運動が始まっています。事業者は、もともと約一三〇〇平方メートルで開発する予定でしたが、周辺の道路が狭くて許可されなかったため、土地を簡単な許可で済む面積に分割して脱法的に建設していることがわかりました。

五〇〇平方メートル未満なら許されるのか

現地は女子大の森のすぐ脇、川崎市が指定する自然遊歩道の入り口です。隣接する緑地は地元の地主さんたちが市と協定を結んで緑地を保全しています。この豊かな緑地に突然重機が入って木を切り始めたのは、昨年九月でした。

調べてみると、事業者が購入したのは一三五五平方メートル。十棟の戸建を建てる計画でしたが、周辺道路が狭く、市の基準に合わず許可されませんでした。そこで事業者は、道路などの要件がまったくない、開発申請の必要のない五〇〇平方メートル未満に土地を分割し、まず四六九平方メートルに三棟建てる計画だけ提出して宅地造成許可を得て、

すぐに一三五五平方メートル全域の木を伐採してしまいました。

九月議会の決算審査特別委員会で井口まみ市議は、事業者は住民に対して公然と、二期、三期工事もあり、十棟建てること述べている。五〇〇平方メートル以上なら、周辺に広い道路も必要、防犯灯やゴミ箱も事業者の責任だが、それ未満ならどれも整備する必要がない。これを繰り返せば一三〇〇平方メートルに何の環境整備も行わずに家が建つ。こんな脱法行為が許されるのかと質しました。

まちづくり局長は「法令に適合している」と、許可したことを認めました。

「緑守れ」の請願審査で「これは許せない」と、近

2010年1月
市議会報告
日本共産党
市会議員
井口まみ
(発行)
日本共産党市会議員団
川崎市川崎区宮本町1
電話 200-3360
FAX 245-4140
http://www.iguchi-mami.jp

南生田小学校の教室不足対策 トイレのにおい解消など 井口議員が求める ー12月議会ー

隣住民の皆さんが一生懸命集めた請願署名が十一月のまちづくり委員会で審査されました。

委員会で井口まみ市議をはじめ、各議員から開発申請

を逃れようとする事業者の姿勢に批判が集中。このなかで飛弾良一・まちづくり局長は「事業者が二期・三期計画の存在を明言したことを聞いて、いきどおりを覚えた」と異例の答弁をしました。

また、環境局緑政課も「この地域は非常に貴重な緑地の一部であり、緑地として買い取る交渉を続ける」と答弁。しかし直ちにやめさせる有効な手立てがないため、今後市の努力を注視するということで請願は継続審査になりました。

バーベキューパーティーで 緑の豊かさ実感

周辺住民の皆さんは、十二月に現地でもバーベキューパーティーを開催。近隣だけでなく

とかしてほしい」と要望が寄せられている問題について、直ちに対策をとるよう要求しました。

教育長は「的確に対応していきたい」と答弁しました。このトイレのにおいについては、改善されるまで注視していきたいと思います。

十二月議会の一般質問で、井口まみ市議は、南生田小学校の施設改善を求めました。

南生田小学校は、現在児童数一千人を超える過大規模校ですが、今後もう少しずつ児童が増えると予想されています。しかし、教室はいつばいで、現在、教材室を少人数学級の部屋に代用しているのですが、あと一クラスでも増えたら、図工室までなくなりかねません。トイレも足りず、早急の対応が必要と求めました。

木場田教育長は、「必要な教室の確保について検討したい」と答えました。井口市議はさらに、多くのお母さんたちからトイレの匂いについて「なん



バーベキューパーティーに参加した皆さんで「緑を守ろう」のうのぼりを立てました。



自席から質問する井口議員

生田浄水場の存続を求める住民の願い

市議会まちづくり委員会での審査は継続へ



多摩区でたいへんな関心を呼んでいる生田浄水場の廃止問題。「命の水を守るために、生田浄水場の廃止の再検討を求めることに関する請願」の審査が去る八月、川崎市議会環境委員会で行われ、十二月にようやくその会議録が公開されました。会議録の要点を掲載し、問題点を探ります。

(会議録は川崎市議会のホームページで見ることができます)

一部の井戸を保全し 災害用に確保すると川崎市

委員会は3時間以上にわたり、全会派が発言する白熱した議論となりました。

焦点のひとつは、災害時、自己水源をなくして、遠くの水だけで大丈夫なのかということでした。

市は「災害時には、一日約三〇トンくみ上げて緊急給水拠点として利用できるように検討している」「応急給水拠点としての災害用の井戸という形で、少なくとも4カ所か5カ所残すということになると、井戸の水位、水質についても継続して水道局としても調査していく」「緊急用という形になるが、残す井戸については水道局としても責任を持って保全していく」と、災害用とはいえ井戸と井戸水の保全をしていくことを明らかにしました。しかし、水源については、「いろいろなどころから融通し合える体制をつくっているから大丈夫」などと自己水源の必要性を認めませんでした。

長沢浄水場	48.69円
潮見台浄水場	46.57円
生田浄水場	40.88円
神奈川県内 広域水道企業団	約85円

各浄水場の浄水コスト比較

浄水のコストは生田浄水場が一番安い

各浄水場の1立方メートルあたりの浄水のコストについては上表の通りであり、原水に不純物のほとんどない生田浄水場が最も低コストであることが明らかになりました。



水道企業団への支払いは減らすことができない

委員から、水道企業団からの水を減らして、生田浄水場の水を引き続き利用したら、どのくらい節約になるのか、という質問がありました。市は「企業団の酒匂の創設分、それから宮ヶ瀬のダム開発分など企業団で持っている企業債の残高を含めて、構成団体で負担していかねばいけないので、計算上は減額は可能だが、現実的には基本料金の約80億円は払い続けていかねばいけない」と、結局、過去の大規模投資のツケを払い続けるために、ほかに切り捨てるという構図を露呈しました。

日本共産党の各議員は「遠くの水だけでなく、こんなに近くの自己水源を放棄することは許されない」「過去に明らかに過大な需要予測をして、設備投資をした責任を、自己水源を放棄するという形で市民に押し付けるべきではない」と主張しました。

審議の結果は継続審査に

請願に対する各会派の態度

自民党…今さらバックギアには入れないというのが基本的な考えだが、審査するに当たっての資料やデータというのが不足している。再審査の必要を感じる。…継続

民主党…いただきたい資料もある。再構築計画をきちんと承認してきた部分とはまた別な時点で、この問題を考える部分がある。…継続

公明党…生田を残すのは非常に難しいと思うが、かなりデータが不足している。緊急時の対応ということも、まだかなり疑問視するところもある。…継続

共産党…地下水を残してほしいということとは、きょうの議論では変わらなかった。水道局がこれだというのなら、もう一度議論したい。…継続

ネット…生田浄水場を残すのは不可能に近いと理解しているが、自己水源をどのように守っていくのかなど、もう少し推移を見守りたい。…継続

無所属議員…自然の自己水源を守っていくのは、本来ならばそうあるべきだろう。市民に対する説明なり提出していく資料としては非常に不足している。…継続

※ 審査は継続なので、引き続き署名を集め、再度委員会で審査させましょう。署名は七千を超え、続々と寄せられています。

こども達の安全を見守ってくれる学童等交通誘導員がいなくなりました

かつて「みどりのおばさん」といわれていた学童等交通誘導員の制度が今年の三月いっぱいなくなりました。

一日5時間、長い人では二〇年以上も同じ場所に立って、危険な交差点などで子どもたちの安全を守ってくれていました。井口まみ市議は四月以降も、市の教育委員会の制度に引き継がれるというので、子どもたちの安全のためにきちんと引き継ぎがされるのか、十二月議会で質問しました。

ひきつづきやってくれるかわからない学童等誘導員さん

地域交通安全員の制度になっても変わらず5時間を確保するよう求めました。



毎朝、子どもたちを安全に誘導する地域交通安全員さん

心配ですし、もし決まらなければPTAの負担になります。すべての危険な交差点に人が配置できるように引き続き、強く求めていきます。

二〇〇九年十二月議会での日本共産党の活動は、別紙の「明るい川崎」でご報告しています。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。